

7.23（観察）

こんな空もあるんだよ

中村 一樹（日本気象協会北海道支社）

キーワード：彩雲、ハロ、幻日、氷晶、光の反射と屈折

空ではときどき珍しい現象を見ることがあります。例えば、雲が虹色に色づく彩雲、太陽の左右にできる幻日、太陽や月のまわりにできる暁（かさ）などです。

手順：

どうしてそんなふうに見えるのだろう。そう思いながら空の不思議を写真に写します。例えば、いつもの見慣れた空に虹があつたらちょっとびっくりするけれど、見つけた時は嬉しいですね。その時見つけた嬉しい気持ちと一緒に、空の写真を撮ります。そうしてできるのが空日記です。その時に思ったこと、不思議に感じたことも一緒に書いておくと、とても楽しい観察日記になります。空日記をつける時は写真でも、スケッチでもよいでしょう。今日はどんな空に出会いましたか。



日暁（ひがさ） 撮影：置田貴代美

原理：

空の高いところにある薄い雲や大気中には、小さな氷の結晶である氷晶がたくさんあります。主にこの氷晶に太陽光が当たると、光の反射や屈折により空には不思議な現象が現れます。

空の高いところにある雲の名前は、巻雲、巻積雲、巻層雲と言います。これらは上層雲に分類されます。中層の高層雲や高積雲でもこのような現象が見える場合があります。現れた日の天気図から判断すると、弱い冬型の時、低気圧や台風、前線が近づいてきた晴天の終り頃、高気圧の西側半分などの事例が多くなっています。

7.24（観察）

雪のうえに暮らすユキムシを探そう

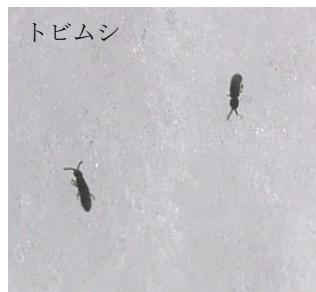
竹内 望（千葉大学理学部地球科学科）、角川 咲江（西堀榮三郎記念探検の殿堂）

キーワード：ユキムシ、セッケイカワゲラ、雪氷生物

寒い冬に、雪の上を活発に歩きまわるちょっとかわった虫がいます。「ユキムシ」です。氷点下を下回る雪の上に生きている虫がいるなんてちょっと信じられませんが、意外といろんな虫がいるのがわかります。こんな寒い中、彼らは雪のうえで何をしているのでしょうか？まだ、あまり知られていないユキムシの世界。よく目を凝らして雪の上をみれば、まだだれもしらないユキムシがみつかるかもしれません。

手順：

天気のいい日に、森や林の中の積雪の上をよく目を凝らしてユキムシを探します。ユキムシは、普通黒い色をしていて、大きさは数ミリ（トビムシ）から数センチ（カワゲラ）です。ユキムシのひとつ、セッケイカワゲラ（ユキクロカワゲラ）は、落葉樹の森林の沢沿いの積雪にいることが多いです。場所、時期、天気、気温によって、見つかる虫は違うかもしれません。ユキムシを見つけたら、どんな種類の虫なのか、何をしているのか、どこに歩いているのか、じっくりと観察してみましょう。



注意：

あぶない場所には絶対に立ち入らないようにしましょう。防寒対策はもちろんですが、必ず長靴をはき、安全に十分配慮しましょう。